

アルス国際製靴学校研修体験記

(16年9月21日～12月21日)

パイロットシューズ(株) 木浪 宏
(株)パイオニア 小山田 好一

アルス国際製靴学校の授業はイタリア語クラスと英語クラスの2クラスで行われます。学校ではパオロ先生、ロベルト先生、アウグスト先生の3人と、ルナティシステムでお馴染みのルナティ先生が高齢にもかかわらず特別指導をして下さいました。

私達のクラスは日本3人、スペイン1人、トルコ2人、アメリカ1人、ドイツ2人、イタリア5人の14人クラスです。もうひとつのクラスはイタリア、ドイツ、中国、インド、韓国など世界中から集まっています。多くの国から勉強に来ているクラスメイトでしたが、みんなとても陽気で、エネルギーによく話しかけてくるので、さまざまな国の人たちと色々な交流が出来、毎日が新鮮でした。

多少の不安を抱えた初めての海外生活でしたが、3か月間を楽しく過ごせたのも、このメンバーのおかげだと思います。



写真1 左：木浪 宏 右：ルナティ先生



写真2 左：小山田好一 右：パオロ先生

今は職場に復帰し本来の仕事に従事していますが、この研修によって、多くの外国の友達が出来、文化の交流が出来たことは、人生において貴重な財産となりました。

○ 研修内容

① 講義事項

ア 実技

- 1 基本原型の取り方（モカシーノ基本パターン等）
- 2 基本モデルとその応用デザインの型紙作成
外羽根、内羽根、ショートブーツ、ロングブーツ、パンプス、サンダル、モカシン、袋モカ、サボ、ベビーなど
- 3 各種デザイン画の作成（非対称デザイン例など）

* 提出課題

- ・週に1回
型紙と紙アップー作成提出
- ・月2～3回
型紙、紙アップー、裏型、
裁ち型デザイン画の作成提出
- ・スペシャルワーク
型紙、紙アップー、デザイン
画を教室に展示

イ 理論（靴及び靴製法に関する様々な知識の習得）

- 1 サイズ比較表（表示別対比表）
- 2 木型プロポーション（各部名称及び数値測定法公式）
- 3 インターナショナルサイズ（表示別のサイズ換算法とその換算）
- 4 甲の加工（アップーエッジの処理方法と名称）
- 5 型入れ、木型名称（パーツ別裁断部分と裁断方向）
- 6 皮、革について（種類及び用途、なめし法の説明、面積計量）
- 7 靴製法（11種類の製法の説明、特徴、用途及び留意点）
- 8 足と靴（主要部分名称、基本的な足の分類）
- 9 内羽根、外羽根の相違点
- 10 足長、足囲（原型からの拡大、縮小の等差、比率）



写真3 アルス国際製靴学校



写真4 授業風景

11 その他（補強方法、踵部分の素材処理法の相違）

② 講義方法

ア 授業スケジュール

月曜日～木曜日	9：00～12：00
	13：30～17：00
金曜日	9：00～12：00
	13：30～16：00
土曜、日曜	休講

イ 授業の進め方

毎日9：00～11：00の約2時間、靴に関する理論等の講義、その後に実技が基本型

○ 卒業製作

ア 学校の材料を使い、フリーデザインでアップーを2点以上作成

イ マイブックを作成（理論の講義録を作成する）

○ 卒業試験

ア クラシックモデル4点（型紙表裏両面、デザイン画、プルオーバー）を作成し、封筒に入れて提出。

イ 予め紳士、婦人、子供靴のいずれかを選び2クラス合同でくじ引きをしてデザインを決め、そのデザイン画を封筒に入れて提出。

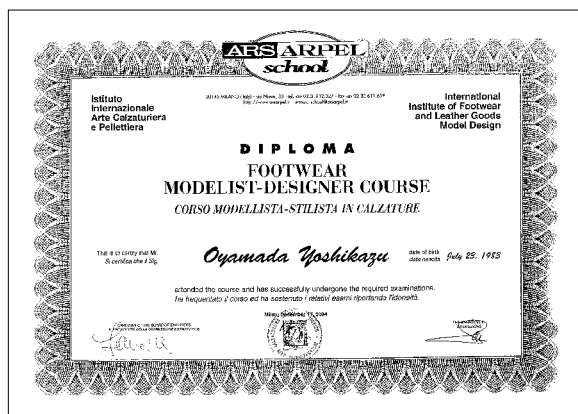
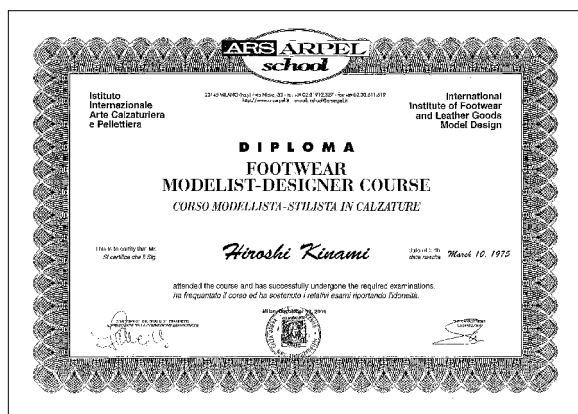
○ 面接試験

面接官はルナティ先生を含めて先生3人と教え子2人の5人で、それに対して

生徒2人で行われます。内容は、講義の内容をまとめたファイルをもとに、卒業試験で提出したもの全ての評価と理論に関する口頭質問。

○ 卒業証書

2月初旬に直接自宅に送られてきます。3か月という短い研修期間とはいえ、とても貴重な体験でしたので、大変感慨深くいただきました。



卒業証書

○ リニアペレ・靴工場見学

10月22日にはイタリア・ボローニアのリニアペレで展示会が3日間にわたって行われました。このときは学校が一日だけ休みになりリニアペレに見学に行きます。各国の業者が集まるだけあって、会場も大きく、人もたくさん入場していました。春と秋の年2回開催され、底材、ヒール、尾錠、なめし革など革製品に関

するものが所狭しと展示されています。新素材や新型の木型も多く展示されていて大変勉強になりました。お客さんはこの展示会で、新しい素材、色、型を見つけ、イメージを膨らませることが出来ることと思います。

12月に入り、なめし工場とシャネルの靴工場の見学に行きました。驚いたのは、いずれの工場も設備がすばらしく、何よりも工場が広いことです。さすが靴の本場イタリアという印象を受けました。



写真5 リニアペレ会場

○ 研修を終えて

研修期間中、毎日紙型を切ることに集中でき、とても充実した日々を送ることが出来ました。研修を振り返ると、はじめは長く感じられましたが、終了してみるとあっという間の3か月間でした。特に同じ業界で働く世界中の人たちとの触れ合いは、今後の仕事において、また人生において大変貴重であり、とても有意義であったと思います。この研修で培った経験を生かし、さらに勉強を重ね、会社・業界に貢献していきたいと思えます。最後になりましたが、さまざまな形で私達を支援して下さいました関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成17年度アルス国際製靴学校 受 講 生 募 集

東京都では、平成17年度の皮革産業技術研究員海外派遣事業について、アルス国際製靴学校（イタリア・ミラノ）の受講生を、下記の要領で募集いたします。

記

〔募集内容〕

- * 海外派遣 アルス国際製靴学校（ミラノ）
- * 募集人数 2名（予定）
- * 研修期間 9月下旬～12月下旬（3か月間）予定

〔資格要件〕

都内に住所（営業の本拠）を有する革靴製造業の事業所（中小企業）に勤務し、かつ、革靴の製造又は新商品の企画・デザイン開発等に従事している者で、職歴2年以上にわたる者。

〔選考方法〕

- 面接及び筆記・実技試験により選考します。
- ※ 同一企業から2年連続の選定は、原則として行わない。

〔東京都の助成〕

受講料、航空運賃及び宿泊料等を補助（付加価値税分は除く）

〔申込方法〕

申請書、履歴書及び推薦状を東京都へ提出してください。

〔申込期限〕

平成17年4月15日(金)

〔問い合わせ先〕

- ◎ 東京都産業労働局商工部経営革新課
担当者 塩津
☎03-5321-1111 内線36-655 直通03-5320-4758
- ◎ 東都製靴工業協同組合
☎03-3876-3391